



# 関宮学園

学校だより 38号

R8. 2. 17

## 校訓「敬・愛・信」

### 受験(受検)勉強で自分自身を高める

本格的な受験(受検)シーズンが到来しました。2月6日(金)の新聞紙上に推薦入学の出願状況が掲載されていました。9年生の意識は、いやおうなしに高まっています。今年度から、兵庫県公立高等学校等入学選抜はインターネットによる出願になっています。ご不明な点は学校までお問い合わせください。

10日(火)には私立高等学校、16日(月)には公立推薦入試が行われました。この後、公立一般学力検査へと続いていきます。

今、9年生は受験(受検)という大きな目標に向かって懸命に勉学に励んでいます。受験勉強というのは、目標が間近に迫り、集中力が研ぎ澄まされ、学力の伸び率が高まるものです。受験勉強は団体戦です。関宮学園全体で勉強する環境をつくり上げていかなければいけません。

出願人数も気になるころでしょうか、ライバルは自分自身です。というのも、受験勉強で身に付けた学力は、4月からの授業の基礎ともなります。今、学力を伸ばしておく、4月からの学校生活をスムーズに始めることができます。今のがんばりが4月からの学校生活を左右すると言っても過言ではありません。3年後、18歳の自分の姿に大きく影響するということです。18歳で迎える次の受験や就職試験は、場合によっては、全国の18歳と競い合うことになることも忘れてはいけません。

### スキー教室

ミラノ・コルティナオリンピックが開会しました。17日間の熱い戦いが繰り広げられています。期間中は、列島に歓喜の瞬間がいくたびも訪れることでしょう。

関宮学園の冬も熱いです。2月10日(火)には、前期課程がハチ高原スキー場で、後期課程が氷ノ山国際スキー場でそれぞれスキー教室を行いました。子どもたちの技術が向上するとともに、運動不足がちな冬期間の体力アップにつながりました。今年度も、多くの指導ボランティアの皆様にお世話になりました。多くの支援を受けて教室が実施できています。教室の様子は本校ホームページをご覧ください。

関宮学園 HP <http://yabuboard.ed.jp/sekinomiyagakuen/>



## 葛畑農村歌舞伎三番叟体験会参加者募集

養父市の伝統芸能である葛畑農村歌舞伎の演目の一つである三番叟の体験会が次のとおり行われます。

日時	3月24日(火)~26日(木)いずれも午後2時~4時
場所	関宮公民館ノビアホール
参加料	無料
対象	小学生
申込	2月27日(金)までに関宮地域局へ(先着順)

### 「市広報やぶ」より

市広報やぶ9月号の表紙の写真が、兵庫県のコンクールで入賞しました。写真は、養父市陸上競技大会でのバトンパスの瞬間で、関宮学園の児童が被写体です。児童の表情が評価されたものだと思います。うれしいお知らせです。

また、2月号の「まちの文化財」のコーナーでは、関宮学園の校舎と校歌が取り上げられています。関宮学園の校歌は、その歌詞とメロディーが印象的で、聴いた方から絶賛されます。絶賛されると、誇らしい気持ちになります。子どもたちには、校歌に誇りをもって全力合唱してほしいです。

令和2年4月1日関宮小学校と関宮中学校を統合し、但馬初の小中一貫義務教育学校として養父市立関宮学園が発足しました。前期課程は小学校の校舎と校歌、後期課程は中学校の校舎と校歌を受け継ぎました。

関宮小学校は平成16年4月1日、大谷・関宮・出合・熊次の4小学校を統合し、中学校の隣接地に新校舎を建設して創立しました。

関宮中学校は昭和39年4月1日、関宮中学校・同大谷分校・同出合分校、熊次中学校の4校を統合し、吉井に新校舎を建設して創立しました。

昭和40年3月発行の統合中学落成特集号『広報せきのみや』には「近代建築の粋をあつめたこの統合校舎は全町の誇りであり、明日をになう若者の人づくりの殿堂としてその期待に十分応えてくれるでしょう」と解説しています。

関宮中学校の校歌は「大但馬、山万丈。大但馬、河千里。仰ぎみる鉢伏のやま、朝日かげ八木のかわなみ」で始まり、「見よここに白亜の学舎、輝きて山峡にたつ」の歌詞があります。作詞は兵庫県知事(昭和29年~昭和37年)を務めた阪本勝氏で、作曲は音楽家の小森光代氏(阪本氏の妹)です。お二人で福崎町立福崎小学校や尼崎市立武庫小学校の校歌も作っておられます。

阪本知事は昭和36年11月10日ハチ高原を視察し、関宮町の観光や産業の開発に尽力し、町民から敬愛されました。校歌は、鉢伏の山々や八木川の自然を讃えたものです。(広報やぶ2026年2月より)